

レディスもじ・レディスやはたの愛称で親しまれた市立勤労婦人センターは 令和3年度より生涯学習センター分館への変更が予定されています

市立勤労婦人センターは、働く女性を中心に、その福祉の増進を図るために設置されました。

現在は北九州市立男女共同参画センター・ムーブの姉妹館として、性別による差別を無くし、仕事も家庭も両立させ、心豊かな生活を送れるように、地元に密着して各種事業を総合的に行ってています。

これまで多くの方々のご協力をいただきながら、講座やイベント、相談、図書事業などを実施してきました。

なかでも、子育て期のママ・パパも安心して受講していただける託児付き講座、市民の皆さんと共に企画運営する開館記念講演会やフェスティバルなどには、毎年多くの方々にご参加いただきました。

レディスとしての事業は残り少なくなったが、引き続きご利用をお待ちしております。

歴史

- 昭和30年 旧八幡市に福岡県婦人の家として発足※1
昭和48年 県から市に運営移管され「北九州市立婦人の家」になる。
昭和52年 全面改築し「市立勤労婦人センター」となる。
昭和62年 門司に「市立東部勤労婦人センター(レディスもじ)」開館に伴い、従来の勤労婦人センターは「市立西部勤労婦人センター(レディスやはた)」に名称変更。
平成23年 (財)アジア女性交流・研究フォーラム※2が指定管理者となりムーブと連携。

※1 働く婦人のための福祉施設を全国で2か所設置する企画(昭和28年労働省)により、旧八幡市と川崎市に発足した。
※2 現在、(公財)アジア女性交流・研究フォーラム



レディスもじ



レディスやはた

生涯学習センター分館への変更について

平成28年2月に策定した「北九州市公共施設マネジメント実行計画」では、勤労婦人センターなどの施設を「特定の目的に縛られず、誰もが利用しやすい施設」となるよう調整を進めることとしています。

そこで、来年4月から「生涯学習センター」に位置づけを見直すこととされたものです。

東部勤労婦人センター

レディスもじ

就職支援講座 行政書士入門講座

就職や起業に役立つ基礎法学、憲法、行政法、民法、商法など幅広く学びます

- 日時 令和2年12月2日～令和3年2月10日
18:30～20:30 毎週水曜日(全10回)
■定員 15名(先着順) ■参加費 2,000円(テキスト代)
■対象 北九州市在住または在勤の方(学生は除く)
■講師 特定行政書士 八幡 圭治さん
■申込方法 10月17日(土) 9:00から電話、来館にて受付

お申込み・お問い合わせ

〒800-0051 北九州市門司区下馬寄6番8号
TEL:093-371-4649 FAX:093-371-4268

西部勤労婦人センター

レディスやはた

レディスやはた閉館記念写真展

～あなたとレディスの歴史を重ねて振り返ってみませんか？～

10月10日(土)～12月20日(日) 入場無料

昭和30年開館の「福岡県婦人の家」から現在までのさまざまな講座やクラブ活動、市としても貴重な能舞台の歴史を写真や年表などでたどります。

- 会 場 レディスやはた
1階ロビー
■休館日 月曜日・祝日



(昭和50年頃 茶道講座)

お問い合わせ

〒805-0059 北九州市八幡東区尾倉2丁目6番6号
TEL:093-661-1122 FAX:093-661-2714

職場のハラスメント

ムーブでは、職場で働く人や事業主の方にハラスメント問題を理解してもらうために、出前講座を行っています。

平成29年3月に発行した冊子『知らないって怖い!職場のハラスメント』を使用します。働く人、事業主など、誰が見てもハラスメント問題を理解しやすいように簡潔にまとめていますので、職場研修においても活用していただける冊子です。

職場では、女性と男性、上司と部下、個人の事情により勤務に配慮が必要な人など、さまざまな背景を持つ人が働いています。そして、ハラスメント問題は、職場において常に起こりうることで、個性や価値観の違う人々の間で、些細な行為の蓄積によって生じます。そのため誰もが、いつでもハラスメント問題の被害者や加害者になる可能性があります。

ムーブの出前講座をご利用された事業主の方々からは「とても参考になった」との声もいただいております。職場の皆さまの啓発の場として、ムーブ出前講座「職場のハラスメント」をぜひご活用ください。

お申込み・お問い合わせ 施設運営課 TEL:093-583-3939

出前講座
受付中



北九州市からのお知らせ

国・県・市が連携サポート ウーマンワークカフェ北九州

女性の仕事探しや、創業、子育てとの両立など、女性の「はたらく」を支援しています。就職時期や働きたい仕事・分野が決まっていない方も大歓迎です。

まずはお気軽にお尋ねください。



- 開館時間 10:00～18:00
■休館日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始
■所在地 北九州市小倉北区浅野3丁目8番1号 AIMビル2階

お問い合わせ

ウーマンワークカフェ北九州 総合受付
TEL:093-551-0092
HP:<https://www.woman-work-cafekitakyu.com/>



お問い合わせ

事務局:北九州市総務局女性活躍推進課
TEL:093-582-2209
HP:<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/kitaq-ikuboss/>



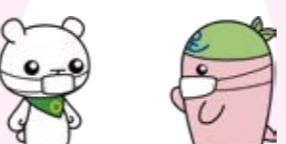
あなたの会社も 北九州イクボス同盟に 加入しませんか？

イクボスが増えれば従業員が変わる。その家族が変わる。企業が変わる。そしてまちが変わる。

働きやすいまち北九州を目指し設立した、「北九州イクボス同盟」にご加入ください。



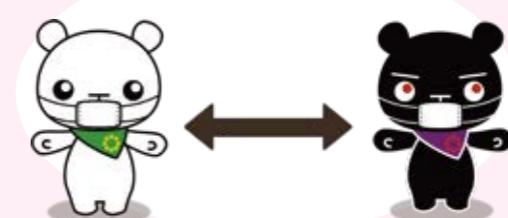
①外出するときは マスクの着用



あなたと あなたの大切な人を守る

北九州市 5つの行動目標

②人との距離をしっかりと確保



④発症したのために 自分の行動を しっかりと記録



③こまめに手洗い



⑤発熱等があるときは 事前に電話をして から病院に行く



あなたと大切な命を守るために、日常生活を見直しましょう
北九州市新型コロナウイルス相談ナビダイヤル
TEL:0570-093-567

©teitan_jimo,
City of Kitakyushu

炎上CMでよみとくジェンダー論

本書は家族社会学及びジェンダー研究者である筆者が、炎上したコマーシャルやPR動画を4つのモデルに設定して、章ごとに各モデルを当てはめながら分析している。読んでみると、私たちが日常的に目に入っているコマーシャル、記憶しているコマーシャルのどのような点がジェンダーの観点から考えて炎上したのか納得がいく。さらに、第1章では「男らしさ、女らしさ」、性別役割分担などジェンダーの入門的な解説もあって、格好のジェンダーの入門書となっている。

また、「広告の“炎上”史」として、本書が言及した55のCM・動画一覧が巻末に資料として掲載されており、興味深い。2015年以降は、地方自治体など公共性が強い組織が作成した動画の炎上が続いていることに気づく。「マイノリティと言葉の政治」(第5章)では、東京オリンピック・パラリンピックに向けた東京都ポスターへの筆者の問題提起が報告されている。本書全体に差別構造への筆者の真摯な向き合い方に共感した。

特定非営利活動法人
FCTメディア・リテラシー研究所 所長 西村 寿子さん



- 渡辺山角 著
- 光文社新書
- 2020年初版
- 820円(税別)

マイノリティ

本書第5章で言及する台湾の「金蘭醤油」のCMは、マイノリティを応援するメッセージとなっている。マイノリティとは、女性、子ども、高齢者、障害者、人種的・民族的背景、性的指向・性自認など、社会・経済・政治・文化的に周縁化されている人々を指すが、商業的利益を優先させがちな主流メディアからの情報には、テーマや地域の偏り、マイノリティ市民への偏見やステレオタイプが存在する。したがって、CMを読み解く際には、本書が提起するマイノリティ市民の置かれた立場への想像力が重要になる。

新たな時代のジェンダー・イシュー ~性差と育児、科学と女性を問う~

2人の著者によって書かれているだけあって、この本のトピックは2つある。ひとつは、性役割獲得と家族に関するもの。そしてもうひとつは、科学と女性についてである。

タイトルに「新たな時代の」という言葉がついているように、結婚しない若者たちの現状や、父親の育児参加などの新しい家族現象と、なぜ科学の分野において「リケジョ」が育たないのか、またAI時代における女性研究者育成支援の動きなどが、分析の対象とされている。

個人的には、ほとんどの国で男性研究者の論文本数が女性のそれよりも多いにもかかわらず、まさに日本だけでは女性の方が圧倒的に論文数が多いというデータの紹介には、なるほどと思った。それでいて、30歳から44歳にトップリサーチャーの半分以上が集中するが、ここは圧倒的に男性が多い。女性は最初の8年以内こそとても生産性が高いが、結婚・妊娠・出産などを機に、再生産労働を担うために、離職すらしてしまうのである。これらの紹介される個々の興味深いデータが、どのような社会的なジェンダー構造のなかで生じているのかを考えるのは、きっと私たちに与えられる課題なのだろう。

せんだゆき
武藏大学 社会学部 社会学科 教授 千田 有紀さん



- 信田理奈・
村上涼 編著
- 三恵社
- 2020年初版
- 1,800円(税別)

生産労働

再生産労働には、2つの意味がある。ひとつは、帰宅した労働者の疲れを癒し、ケアして、また働く状態にしてあげること。もう一つは、子どもを産み育てるということである。両方ともが主に女性によって、無料で担われている。この家事育児の無償労働について切り込んでいったのが、「逃げるは恥だが役に立つ」のTV版ドラマである。「やりがいの搾取」など、徹底的に無料で行われる労働に焦点化されるさまは、爽快だった。ヒットの秘密はそこにある。

21世紀の「女の子」の親たちへ ~女子校の先生たちからのアドバイス~

筆者のおおたとしまさ氏は、教育ジャーナリストで60冊以上の教育関係書を執筆。2019年は『新・女子校』という選択並びに本書の『男の子』版などを出版している。

本書の帯に「女子がありのままでいられれば、社会は変わる!」とある。一方、公益社団法人ガールズカウト日本連盟のジェンダー教育資料の表紙には、「少女が変われば、世界が変わる」と書かれているが、趣旨は同じである。筆者が主張するように「教育は男の子向けに作られている」日本社会では、少女が変わらなければ社会は変わらない。女の子を伸ばすことに成功している女子校のベテラン教員の見解を引用して展開している本書の主張の背景に、女子校では、女の子がありのままでいる、という実態がある。

活躍している女性リーダーには女子校出身者が多い。また、「イスラム圏で女子の理数力が高いわけ」で、私の勤務学校でも理数教育を進めていることが正しい方向であることが実証された。

「女子と男子のモチベーションの違い」、「必要なのは道徳教育よりも人権教育」、「性(セクシュアリティ)教育は人権教育」などジェンダー平等教育にとどまらず、筆者が理想とする教育觀にあふれている。

十文字中学・高等学校 校長 橋本ヒロ子さん



- おおたとしまさ 著
- 祥伝社
- 2020年初版
- 1,500円(税別)

セクシュアリティ教育

第2章が自分を守るために性教育と平和教育となっている。8節の「人権教育としての性教育」のところに、『海外でもセクシュアリティ教育とか包括的セクシュアリティ教育と言っている』と書かれている。国連の会議でもsex educationとは言わず、comprehensive sexuality educationもしくはsexuality educationを使っている。その方がLGBTも包括できるので、個人的には「セクシュアリティ教育」の方を使うべきだと考えるし、提案する。

& MORE 手に取りやすい一冊

親になったの私だけ!?

お茶の水女子大学 基幹研究院 准教授 西村純子さん

冒頭でてくるのは、お迎えに間に合うよう定時で帰宅し、子どもたちを安全に監督しつつ夕食を作つて食べさせる、そんな夫の姿である。どうやってそんな夫に?!当然、疑問が湧く。

結論から言うと、夫「改造」のコツなどない(あるはずもない)。すべては妻の汗と涙の「戦い」の果実だ。新生児のオムツ替えや沐浴を「怖い」といって拒否する夫に、体力気力の限界寸前で育児を叩き込む。保活※を「大変だね」と他人事のように言う夫に、「お前も考えろや!」と迫る。夫は一緒に子育てる盟友になるはずだったのに、一番最初に倒さなければならぬ敵だと気づき、むなし思ひを抱えながらも交渉を続ける。夫がある程度家事・育児に慣れてくると今度は、世の中の夫に比べたら、洗濯も買い物も、子どもの抱っこもこんなにやっているのに怒られる理由がわからない、と反論される。ひとつひとつのエピソードが、夫とのバトルに日々孤軍奮闘する女性たちの思いを、見事に代弁してくれている。



- 漫画 ゆむい
原作 耳たぶが吸つてたも~れ
- KADOKAWA
- 2020年初版
- 1,050円(税別)

さらに本書でハッとしたのは、そうしたバトルを展開するなかでの、社会に対する気づきが丁寧に描写されていることだ。保育園に入れず、仕事に復帰できなくとも、それを「自己責任」に帰してしまうような社会への気づき、悪いのは夫「個人」ではなく、その背後にある社会ではなかったのかという気づき。バトルの「土俵」を見据えつつ、夫に、社会に向かう主人公の姿は爽快だ。もしかすると夫「改造」の肝は、そこなのかもしれない。

※子どもを保育園に入れるために保護者が行う活動

女性への暴力ゼロ運動 特別講座

見えない暴力に気づいていますか?

～言葉や態度で心を傷つけることもDVです～

近年社会的にも大きな問題となっている「モラルハラスメント」について学びます。具体的な事例や法的な対処の方法について、数々の離婚問題や男女問題に携わってこられた東弁護士からお話しいただきます。

11月10日(火) 14:00~16:00

会 場 ムーブ5階 大セミナールーム

定 員 50名(先着順) 対 象 どなたでも 参加費 無料

託 児 有(6ヶ月以上就学前まで)※要予約(1人500円)

申込方法 電話、FAX、ムーブホームページにて受付

お申込み・お問い合わせ 相談室 TEL/FAX:093-583-5197



【講師】
黒崎合同法律事務所 弁護士
ひがし あつこ
東 敦子さん

女性への暴力ゼロ!ホットライン(女性の権利110番)

11月18日(水) 10:00~17:00

ムーブでは、内閣府の「女性に対する暴力をなくす運動」に合わせて「女性への暴力ゼロ!ホットライン(女性の権利110番)」を実施します。
弁護士や相談員が、女性への暴力に関する相談を電話でお受けします。



093-583-3331
093-583-3663

相談室のご案内

女性の人権に関する

無料法律相談 [申込み受付日] 市政だよりに掲載

☎ 093-583-5197

第2火曜日 13:00~15:00

第3土曜日 13:00~15:00

第4水曜日 18:00~20:00

こころと生き方の
一般相談

☎ 093-583-3331

火曜~日曜日 9:30~17:00

男性のための電話相談

☎ 093-280-5325

第2火曜日 18:00~20:00

第3土曜日 10:00~12:00

性別による
人権侵害相談

☎ 093-583-3663

火曜~日曜日 9:30~17:00

女性のための
元気アップ相談

☎ 093-591-9408

毎週金曜日 10:00~17:00

マガジンリサイクル



11月7日(土)~ なくなり次第終了

会 場 ムーブ1階 図書室入口

時 間 9:30~18:00 (日曜日は17:00まで)

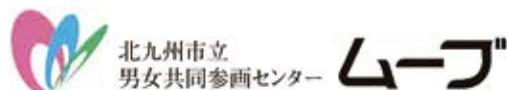
休室日 月曜日、所内整理日(11月12日、26日)

図書室の蔵書のうち、保存期限を過ぎた雑誌などを無料配布いたします。(お一人様10冊まで)

人の密集を避けるため、蔵書は少しずつ出していきます。

*新型コロナウィルス感染症の影響で、変更になる場合があります。

お問い合わせ 情報課 TEL:093-583-5082



〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号
TEL:093-583-3939 FAX:093-583-5107

HP: <https://www.kitakyu-move.jp/>

E-mail: move@move-kitakyu.jp

ア ク セ ス	●西鉄バス「ソレイユホール・ムーブ前」下車 【小倉駅バスセンターから】 27 36 45 110 138 【小倉駅入口から】 76 150 170 175 197
	●西鉄高速バス「ソレイユホール・ムーブ前」下車 【天神バスセンターから】 いとうづ号
	●JR西小倉駅より徒歩15分
	●北九州都市高速 勝山ランプ・大手町ランプ出口より約3分 地下駐車場／100台収容 30分毎100円(車高制限は2.1m) (8:15~22:15 ただし入庫は22:00まで)



北九州市立男女共同参画センター・ムーブの指定管理者



ムーブのFacebookページでイベント情報をはじめ、いろいろな情報を発信しています。みなさまの「いいね!」をお待ちしています。